

# 星を見てみよう

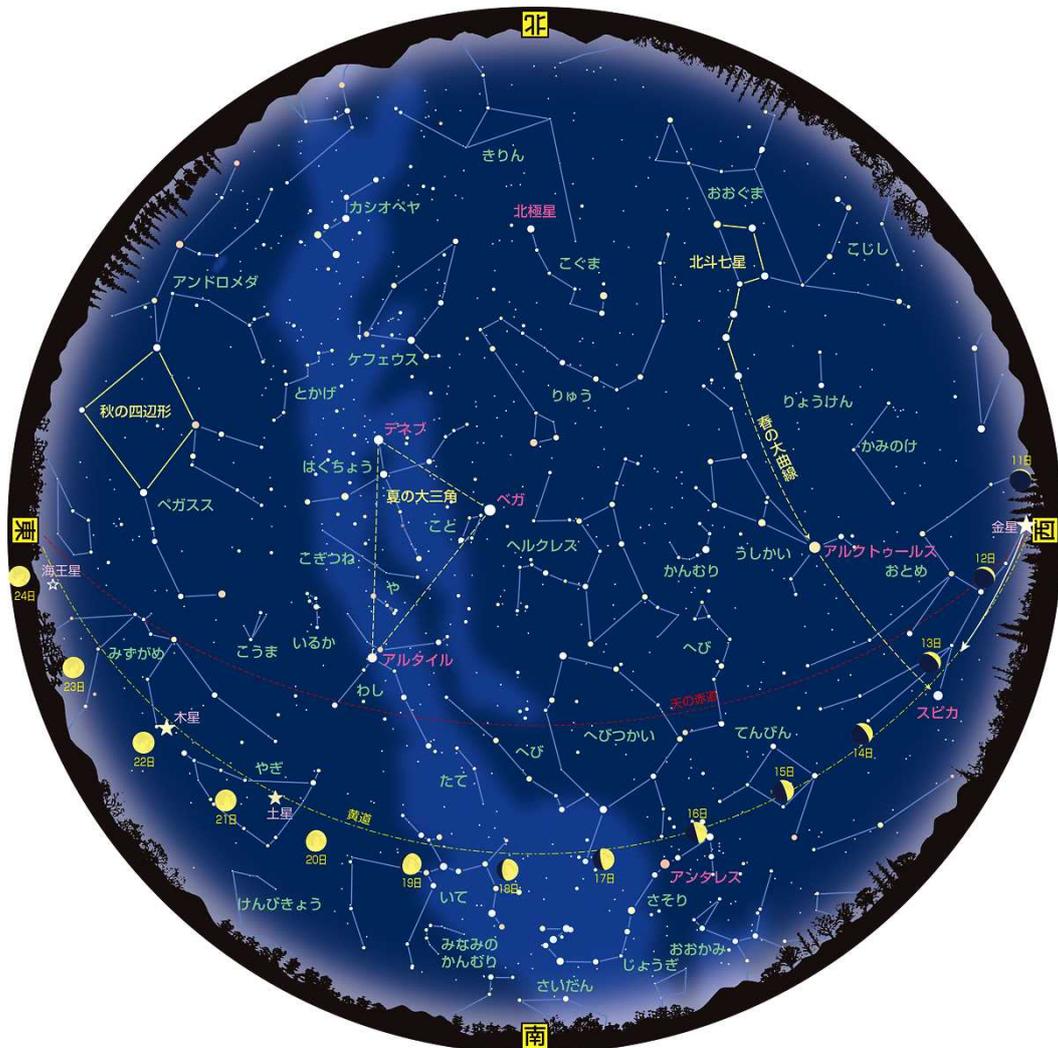
## ～親子で天体観測～

夏休みにチャレンジしてほしいことの一つに「自然体験」があります。新型コロナで「お出かけ」がむずかしい今年…自宅でもできる自然体験が天体観測です。おうちの人といっしょに、夜の空をながめてみてはいかがでしょうか。

### 注意

- ① 必ずおうちの人と一緒に・・・子どもだけではダメ！
- ② 静かに見る・・・近所迷惑にならないように！
- ③ 虫さされに注意・・・虫よけなどでしっかりガードしましょう！

### どんな星がみえるのかな【2021年8月15日の夜空】



AstroArts社のHPから引用

## 流星群(りゅうせいぐん)

毎年決まった時期に、流れ星がたくさん見える「流星群」という現象が起こります。

### ■三大流星群

1月 4日ごろ：しぶんぎ座流星群(りゅう座流星群と呼ばれることもあります)

8月13日ごろ：ペルセウス座流星群

12月20日ごろ：ふたご座流星群

## ペルセウス座流星群のみごろ 8月12日(木)～13日(金)

一番多く見られるのは、8月13日(金)4:00頃の予想ですが、前後の数日間はいつもとより、流れ星が出やすくなっています。今年は、月の光がじゃまにならないので、たくさん見つけられるかもしれません。

※ 空が暗いところでは1時間に50個くらいみえると予想されています。

## みつけるコツ

- ① できるだけ空が広く見えるところで  
※ おうちの人と安全な場所をさがしましょう
- ② よけいな光が見えないところで  
※ ライトに赤いフィルムを2枚重ねて使うと目にやさしくなります
- ③ 目を「暗さ」になれさせる  
※ 最低でも15分くらいは、見つづけてみましょう
- ④ どこかに集中しないで、空全体をボーッと見る  
※ 首が痛くなるので、シートなどに寝転んでみるのがおすすめです

## ほかにも

■金星(きんせい) 夕方西の空に、とても明るく見えます。「よいの明星」です。

■火星(かせい) 夕方西の空に見えます。

■木星(もくせい) 夜9時頃、東の空から登ります。かなり明るく見えます。

■土星(どせい) 夜8時頃、東の空から登ってきます。

■天の川(あまのがわ) 南の方角からまっすぐ上に伸びています。

※ 空の明るいところではなかなか見えません。

■さそり座… 夜8時頃、南の空に、おおきな逆S字を探してみましよう。

※ さそりの心臓部分にある赤い星がアンタレスです。

## しらべてみよう

インターネットを使うと、その日、その時間の星空のようすを調べることもできます。「きょうの星空」などのキーワードで検索してみましよう。